

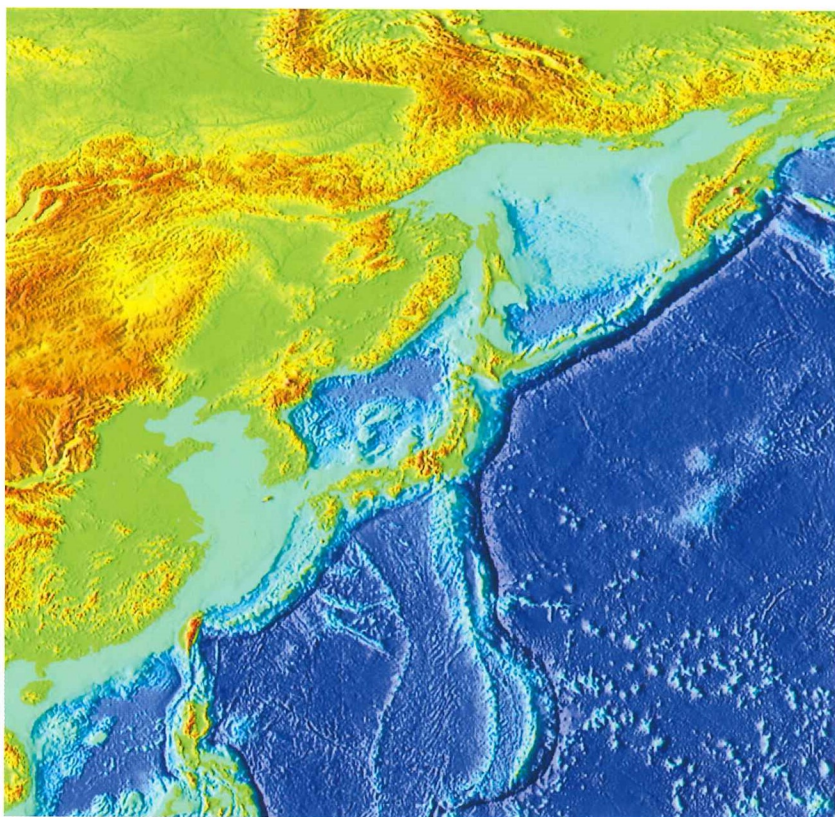
日本の島じま大研究

1

日本列島の 歴史と地理

監修／田代 博

著／稲葉茂勝



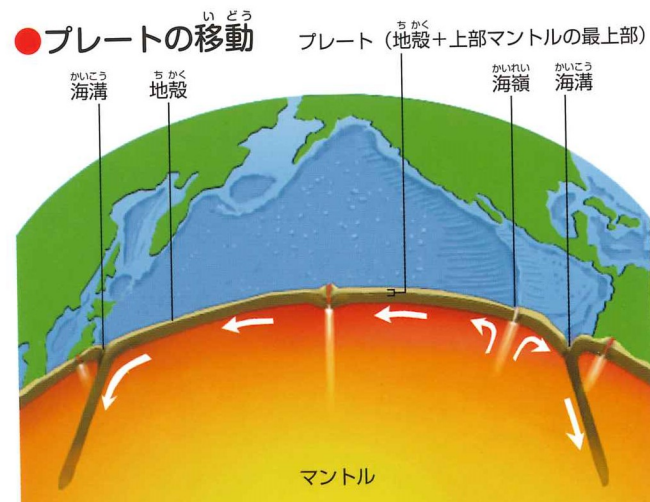
1 日本列島はこうしてできた

日本列島は、地球が現在のようすにかたちづくられるころから
ほぼ現在の位置にあり、山脈などは造山運動によって
かたちづくられたと、かつては考えられていました。しかし、今は、
「プレートテクトニクス」という学説で考えられるようになりました。

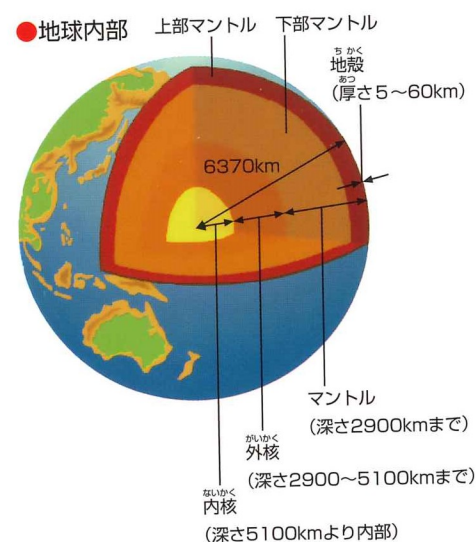
「プレートテクトニクス」という学説

「プレートテクトニクス」は、地球の表面をおおうプレートの動きが非常に長い時間をかけて山脈・海溝*1をつくったり、地震を起こしたりすることなどについて、地球規模で理解しようとする学説のことで、1960年代後半から急速に発展してきました。「プレート」とは、地球の表面をおおう十数枚の厚さ100kmほどの板状のかたい岩盤のことです。プレートは、地球内部で対流しているマントルの上に乗っているため、1年間に数cmの速度で動いています。

この学説によって、地球上の大陸や島は近づいて衝突したり、反対に分裂してはなれていたりするものであると考えられるようになりました。現在では、日本列島もそうしてできたと考えられるようになっています。



プレートには、大陸をつくる大陸プレートと、海底をつくる海洋プレートがある。海洋プレートは海嶺*2で生まれて移動していき、最後は海溝でしずみこむ。



- *1 海溝：急斜面に囲まれた、細長い深海底の谷。深いところでは、深さ6000m～1万mにもおよぶ。
- *2 海嶺：海底にある、急斜面をもつ細くて長い高まり。海底山脈のこと。

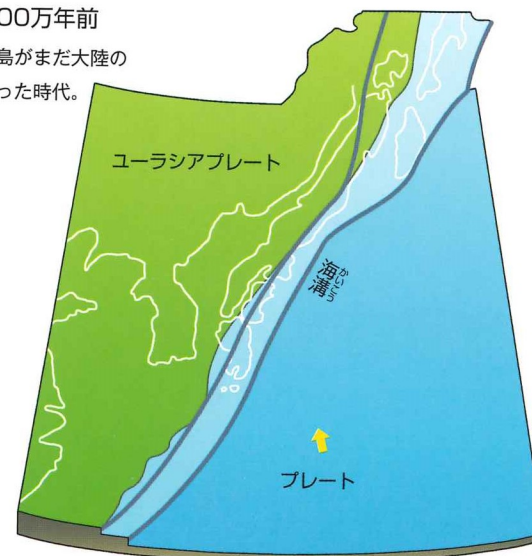
地球の主要なプレート。

日本海ができた！

現在の日本列島がある場所は、かつてユーラシア大陸の一部でした①。大陸の東の縁の少し内陸部が長い時間をかけて割れていき、そこへ海の水が入りこみました②。そうして、海がだんだん拡大していき、現在の日本海の元ができました③。

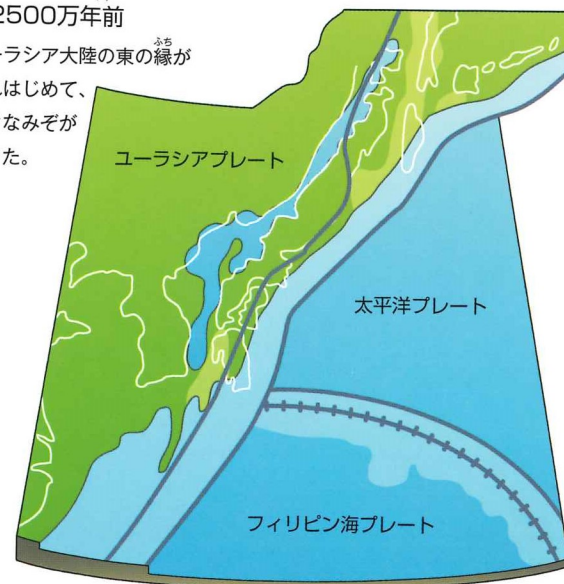
①約7000万年前

日本列島がまだ大陸の一部だった時代。



②約2500万年前

ユーラシア大陸の東の縁が割れはじめて、大きなみぞができた。



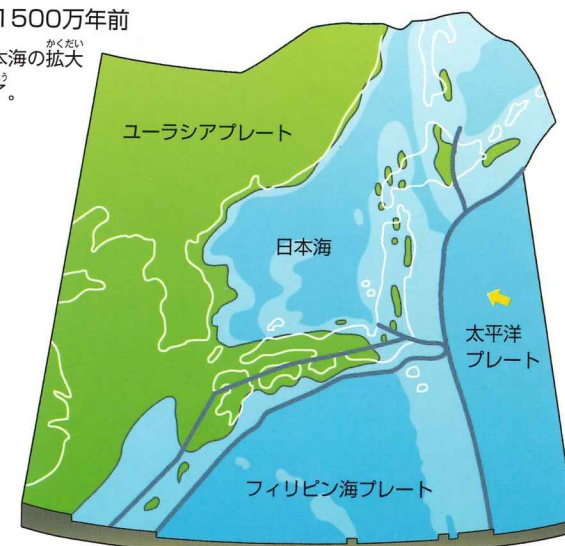
③約1900万年前

みぞはさらに拡大し、海の水が入りこんだ。

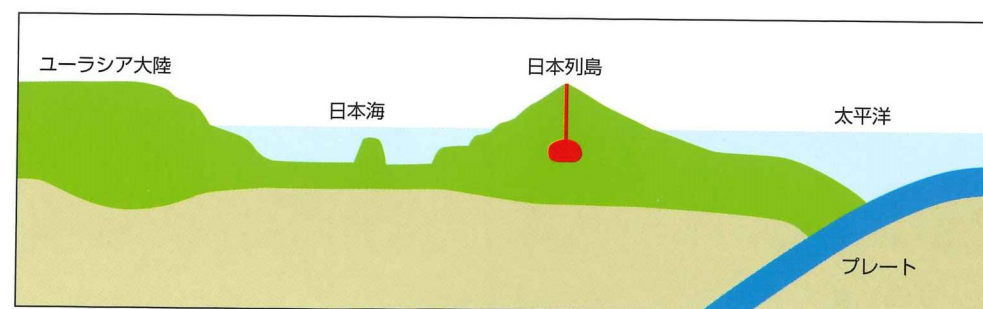


④約1500万年前

日本海の拡大しやう終了。



資料：『日本列島の誕生』（平 朝彦／著、岩波新書）



5 プレートと地震

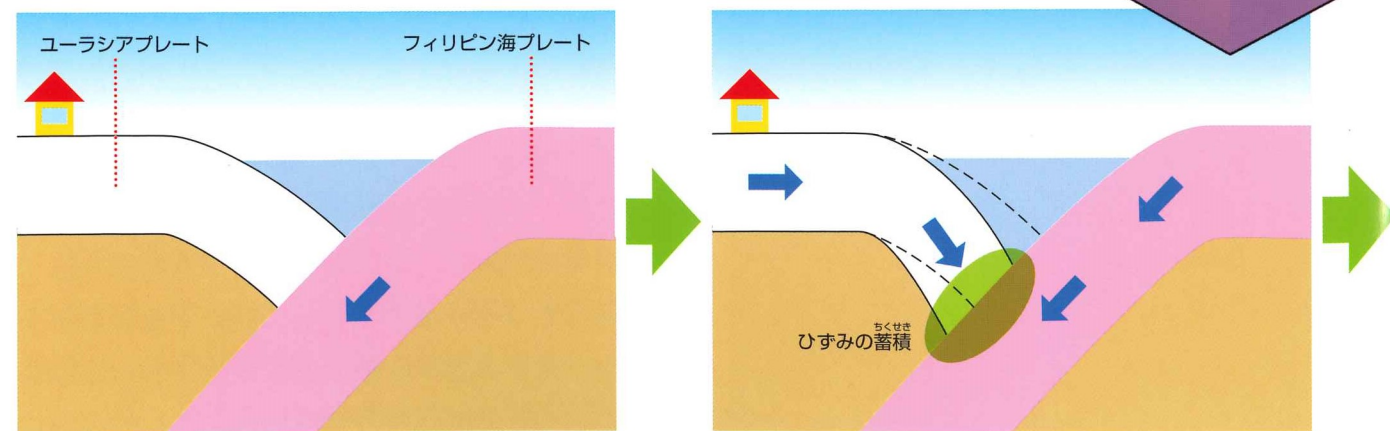
日本では、プレートの境界を震源地とする巨大地震が過去何度も起きています。それは、日本列島の周囲でプレートが複雑にぶつかりあっていることが原因だと考えられています。

海溝型地震

海洋プレートである太平洋プレートとフィリピン海プレートは、日本海溝、相模トラフ、駿河トラフ、南海トラフから、日本列島の下へとしずみこんでいます。すると、日本列島が乗っている大陸プレートである北アメリカプレートとユーラシアプレートの先端は、接触のまさらのために、長い時間をかけて下方に向かって少しずつ引きずりこまれています。

引きずりこまれた大陸プレートの先端は、ひずみがたまって、がまんしきれなくなると、一気にねえがります。その衝撃が巨大地震となります。この地震をプレートの境界で発生する「海溝型地震」といい、津波をとまいます。

海溝型地震



●プレートのしずみこむ場所



トリプルジャンクションでは

南関東沖は、トリプルジャンクション (→p6) とよばれる、プレートが複雑にぶつかっている地域です。日本列島の北側は、太平洋プレートがしずみこむ北アメリカプレートの上に乗っていますが、相模トラフからはフィリピン海プレートがしずみこんでいるのです。このように、南関東沖は、3つのプレートがたがいに衝突したりこすれあったりして、絶えず地震を起こしています。

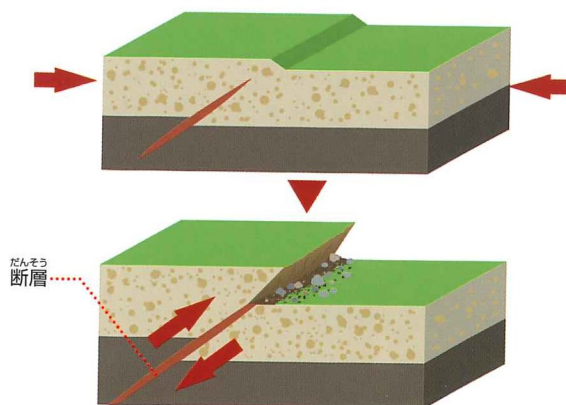
プレート内の地震

フォッサマグナ (→p7) の糸魚川-静岡構造線では、北アメリカプレートとユーラシアプレートがぶつかっています。このため、日本列島は東西に年1cmの割合でぢぢんでいて、また、中部地方から近畿地方にかけて岩盤にひびわれ(断層)が生じていると考えられています。

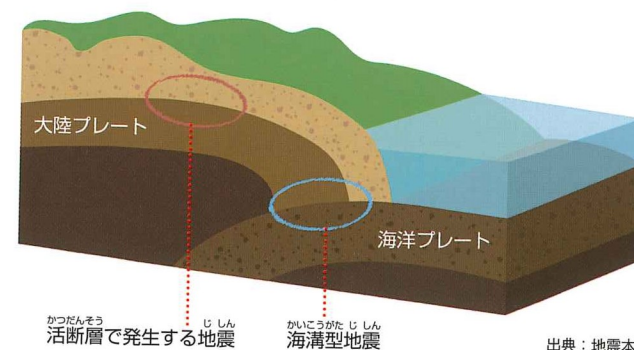
海洋プレートの下に引きずりこまれるのをがまんしていた大陸プレートが、限界に達したとき巨大地震が発生します。そのとき、そのエネルギーはプレートの内部にまで伝わっていきます。そして、各地で岩盤をずり動かしたり、破壊したりすることがあります。数十万年前以降にこうした動きがあり、今後も活動すると考えられる場所(「活断層」)では、なんらかの力が加わり、ふたたびずれ動くことがあります。

この活断層は、現在日本には2000か所ほど見つかっています。そうしたところでは、地下の浅い所で地震が発生する可能性が高くなっています。その地震を、「直下型地震」といいます。

活断層で発生する地震



地震の発生するところ



出典：地震本部



日本列島の火山

世界には約1500個くらいの活火山があります。

なかでも活火山の多い国は、太平洋を取りまく「環太平洋地域」に位置するアメリカ、ロシア、チリ、インドネシア、そして日本です。

●活火山とは？

火山について、かつては、「噴火している」ものを「活火山」とよび、「現在は噴火していないが、噴火する可能性のある」ものを「休火山」、「噴火記録がない」ものは「死火山」とよんでいました。富士山のように歴史時代（文献による検証可能な時代）に噴火記録はあるものの、現在休んでいる火山は、休火山とされていました。

ところが、火山の活動は、数百年程度の休止期間では、今後噴火する可能性があるかどうか分からないことから、噴火記録のあるなしにかかわらず、今後噴火する可能性があるすべての火山を「活火山」とよぶようになりました。

その後、2003（平成15）年になって、火山噴火予知連絡会は、活火山を「おおむね過去1万年以内に噴火した火山および現在活発な噴気活動のある火山」と定義しなおしました。その際、日本の活火山の数は108でしたが、2011（平成23）年6月に2つ、2017（平成29）年6月に1つが新たに選定され、2017年現在では、活火山の数は111となっています。この数は、世界の活火山の7～8%が日本に集中していることを示しています。

長野・岐阜県境にある御嶽山の噴火
(2014年9月27日)。



●火山フロント

日本は火山国だが、火山は日本列島のどこにでもあるわけではない。右の図のピンクの破線は、日本列島の活火山をつないだ線で、「火山フロント」という。火山フロントより東側（太平洋側）には、活火山はほとんどない。活火山は、千島海溝・日本海溝・伊豆・小笠原海溝・南海トラフと平行して分布していることがわかる。



●そもそも火山とは？

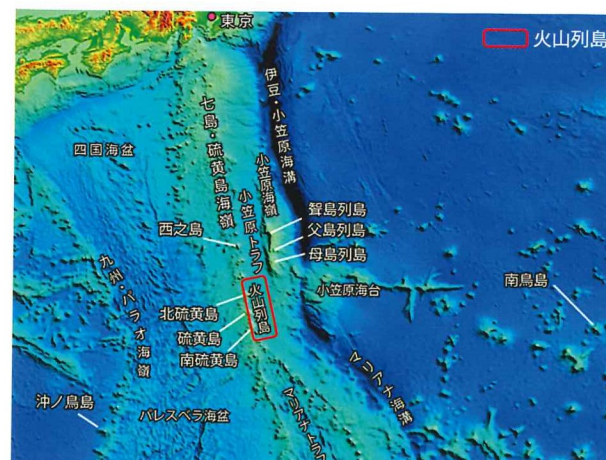
大陸プレートの下に海洋プレートがしずみこむ地帯（海溝）では、海洋プレートによってもちこまれた水の働きなどによって、上部マントルの一部がとけてマグマが形成されます。マグマは上昇していき、いったんマグマだまりにたくわえられます。そして、さまざまな作用を受けて地表に噴出し、火山となります。海溝にほぼ平行して火山が分布しているのは、そのためです。

火山が噴火すれば、大きな被害が出ることがあります。一方、火山のおかげで、土壌が豊かになったり、温泉がわいたり、観光地ができたりすることもあり、人びとは火山の恩恵を受け入れています。

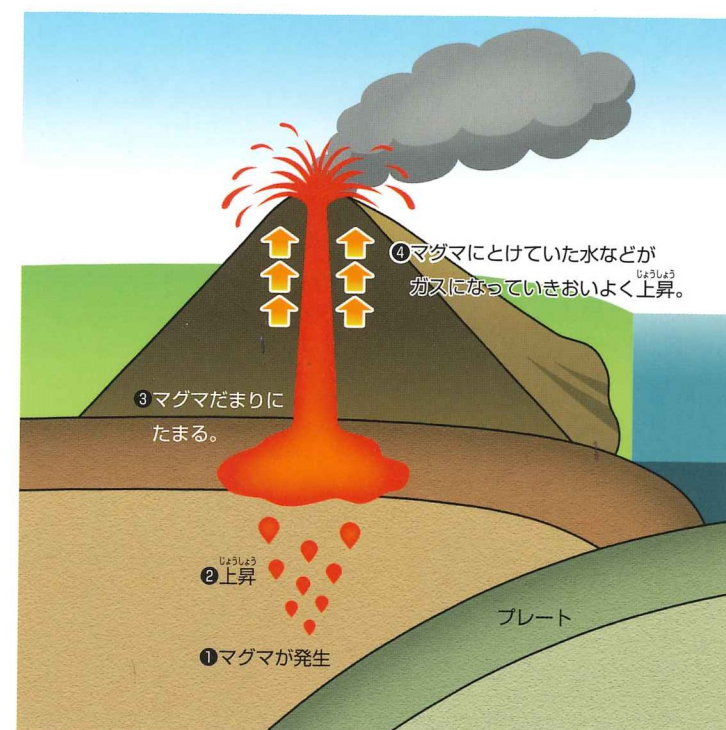
●「火山列島」とは？

「火山列島」というと、日本列島のことだと思われがちですが、固有名詞としては、小笠原諸島に属する硫黄島、北硫黄島、南硫黄島の3つの島（西之島→p9）をふくめることもある）をさします。別名、硫黄列島ともよばれています。硫黄のにおいが立ちこめているため、そう名づけられたといわれています。

「火山列島」は、その名のとおり、深海底からそそり立つ海底火山とされていますが、硫黄島および南硫黄島の噴火記録はありません。



●火山噴火のしくみ



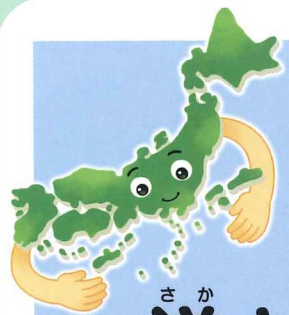
富士山と温泉。

●富士山が噴火したら？

富士山は、1707（宝永4）年に大噴火したという記録が残っています。山の中腹に大きな穴があいて、大量に噴出した火山灰は遠く江戸のまちまで達しました。このため、現在、富士山が同じような噴火を起こせば、首都圏を中心として関東一円に大きな被害が出ると予測されています。

2004（平成16）年6月、富士山が噴火した場合の災害予測が内閣府から発表されました*。

*富士山火山防災協議会「富士山ハザードマップ検討委員会報告書要旨」



逆さ地図で 見る 日本列島



※この地図は、新潟県佐渡市が国土交通省国土地理院長の承認を得て作成したもの。

これは、大陸を下部にして、日本列島を上部に配置した
逆さ地図です。大陸の側から日本を見ると、
地図の左側から順に、千島列島、日本列島、南西諸島が、
それぞれ弧をえがいている弧状列島であることが、よくわかります。

視点が変わる！

この逆さ地図で見ると、日本がどのような位置にあるのかを、ふつうとはちがった視点で見ることができます。たとえば、大陸側から見ると、日本列島が太平洋への出口をふさいでいることに気がつきます。日本列島は、ロシア、韓国、中国から広い太平

洋へ船で出るのをじゃましているかのようです。
このような逆さ地図は、南を上にしたオーストラリアのものが有名です。いつも自分の国が下に置かれるのはいやだという発想で、南北を逆転させたのです。地図が北を上にするのは近代以降の科学的な約束事ですが、時には地図の向きをかえて世界をながめると、新しい発見があるかもしれません。

日本の島じま大研究

3

日本の島と 領海・EEZ

監修／田代 博

著／稲葉茂勝



③ 外国に近い海

6ページに記した宗谷岬のほか、外国に近い場所は、
長崎県の対馬、沖縄県の与那国島(→p5)などがあげられます。

これらの場所では、領海の範囲などが、
日本のほかの海岸とはことなっています。

対岸国に近い日本の海

対馬から韓国の基線までは49.5kmで、与那国島から対岸の台湾の基線までは111kmです。
いずれも24海里(44.4km)以上ありますので、
領海と領海は接していません。それでも、日本
にとって、海のすぐ向
こうに外国があ
ります。



* 国際的に「日本海」とよばれているが、韓国は「東海」と、
北朝鮮は「朝鮮東海」とよんでいる。

特定海域では

現在、北海道の宗谷海峡(1)と同じく、津
軽海峡(2)、対馬海峡西水道(3)、対馬海峡
東水道(4)、大隅海峡(5)が特定海域となっ
ています。



日本では、1977(昭和52)年に制定された「領
海法」により、領海は基線からその外側12海里
までとされました。しかし、5つの海峡は日本
の領海内でありながら、特定海域として、外国
船(軍艦をふくむ)が自由に航行できることに
なっています。この意
味で、これらの海峡は
外国の船の通過が認め
られている「国際海峡」
だといえます。

ただし、沿岸漁業を
保護する目的で、外国
漁船による操業などは
禁止されています。

出典：海上保安庁

1875(明治8)年、サンクトペテルブルグ条約(千島・樺太交換条約^{*1})が結ばれ、樺太はロシア領となり、かわりに、クリル諸島のうちロシア領だった島じまは日本領となりました。

1905年、日露戦争後の「ポーツマス条約」により、南樺太は日本領となりました。この条約により、サンクトペテルブルグ条約の樺太・北海道間の国境条項は失効しました。ただし、千島に変更はありませんでした。

ところが、それから40年がすぎた第二次世界大戦末期、ソ連(現在のロシア)は「日本の領土には攻めこまない」と約束していたにもかかわらず、とつぜん南樺太に侵攻しました。そしてそのまま占領。現在も占領しつづけています。

第二次世界大戦に負けた日本は、1951年に連合国とサンフランシスコ平和条約^{*2}を結び、千島列島と樺太の領有権を放棄しました。

^{*1}「千島・樺太交換条約」は、1875年、日本とロシアのあいだに結ばれた国境画定条約。宗谷海峡を境に樺太(サハリン)をロシア領、千島列島を日本領とすることなどが取り決められた。

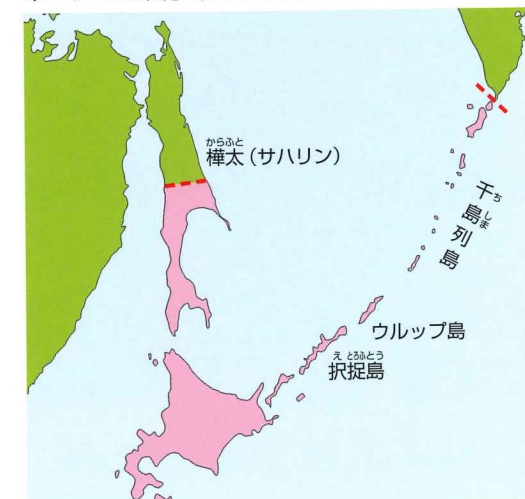
千島列島の島じまの夏の典型的な風景。



千島・樺太交換条約(1875年)で決まった国境線



ポーツマス条約(1905年)で決まった国境線



^{*2}第二次世界大戦の戦争状態を終結させるために、アメリカのサンフランシスコで調印された日本と連合国との条約。

千島列島・オネコタン島のカルデラ湖の中にそびえる山。



北方領土問題

北方領土問題は、日本人なら誰もが、何度も聞いたことのある言葉でしょう。この問題のはじまりは、江戸時代末期に当時の江戸幕府とロシアが結んだ日露和親条約(→p11)にさかのぼるといわれています。

そもそも「北方領土」とは?

「北方領土」とは、北海道根室市の北にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の「北方四島^{*1}」のことです。

1945年に日本が第二次世界大戦に敗れるまでは、これらの島に日本人がたくさん住んでいました。現在はロシア(1991年まではソ連)により占領され、日本人は住んでいません。

ロシアは、サンフランシスコ平和条約^{*2}で日本が放棄した千島列島に北方四島がふくまれていると主張しています。「千島は地形の状況から見て国後島までである」などともいっています。

しかし、これに対して日本は、ウルップ島より南にロシアの勢力がおよんだことがなかったことや、1875年の千島・樺太交換条約(→p12)でも千島がウルップ島以北であるとされていたことなどにより、「千島列島には北方四島はふくまれていない」と、ずっと主張してきました。

2017年現在、日本とロシアのあいだには、まだ平和条約は結ばれていません。しかし、両国ともに



その必要性を感じ、条約を結ぶ準備を進めています。

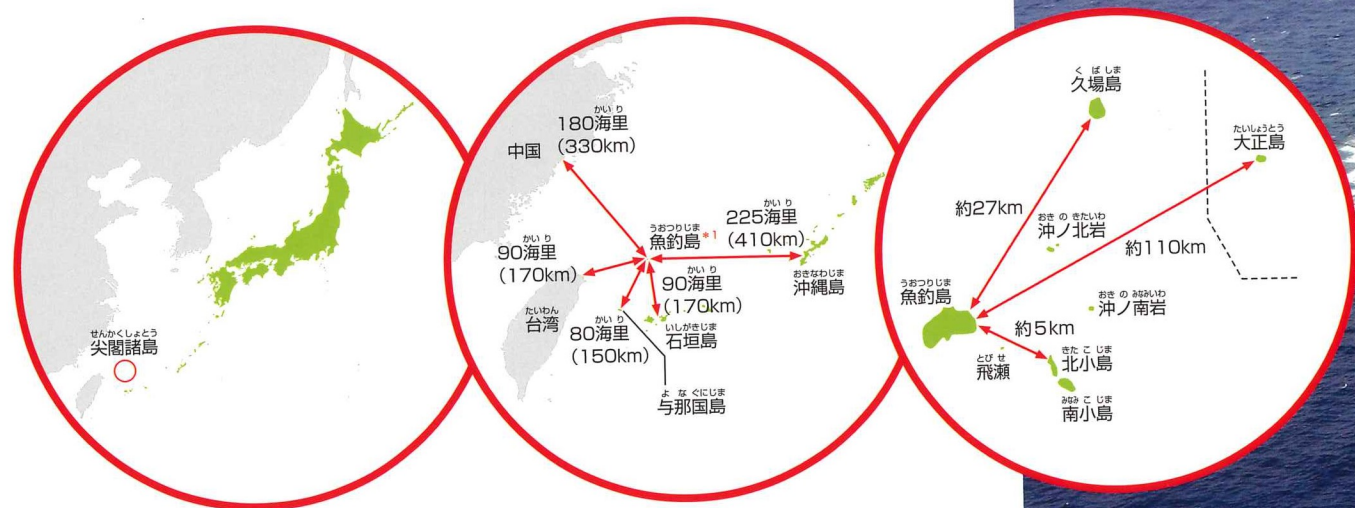
それでもロシアは、「歯舞群島と色丹島を返還する用意はあるけれど、それ以外は返還する必要がない」という主張をくりかえしています。

^{*1}北方領土はしばしば「北方四島」と表現されるが、実際は、歯舞群島には複数の島じまがあり、色丹島や国後島、択捉島にも海岸線付近に小さな島がある。

^{*2}ソ連は連合国の一員だったが、サンフランシスコ平和条約に署名しなかった。

7 3か国が自分のものだ という尖閣諸島

日本は「尖閣諸島が日本固有の領土であることは、歴史的にも国際法上も疑いのないところである」といっていますが、尖閣諸島をめぐる日本、中国、台湾の争いは現在も続いています。



日本、中国、台湾のそれぞれの主張

次は、尖閣諸島をめぐる3か国のそれぞれの主張をまとめたものです。

【日本の主張】

- ①尖閣諸島に関して解決すべき領有権の問題は、存在していない。
- ②尖閣諸島は、歴史的にも一貫してわが国の領土である南西諸島の一部である。もともと尖閣諸島は、1885年以降政府がなんども現地調査をおこない、そこが無人島であり、清国（現在の中国）の支配はまったくおよんでいないことを確認し、その上で、1895年1月14日に正式に日本の領土に編入（先占）した。
- ③尖閣諸島は、日本が清国より割譲を受けた台湾および澎湖諸島*2にはふくまれていない。

- ④中国および台湾が尖閣諸島に関する独自の主張をはじめたのは、1968年秋に東シナ海に石油埋蔵の可能性があることが判明したのちの1970年代以降である。
- ⑤中国および台湾が、歴史的、地理的、地質的根拠などとしてあげている点は、どれも尖閣諸島に対する中国の領有権を裏づけるに足る国際法上有効な論拠とはいえない。

プラス 1 先占とは？

「先占」とは、どの国も領有していない土地に対し、ほかの国より先に実効支配する（実際に支配することによって自国の領土とする）こと。これは、国際的に認められている国の権利である。

【中国の主張】

- ①尖閣諸島のことについて書いてある最も古い文献が中国で発見された。
- ②日本が尖閣諸島を自国の領土であると宣言したのは、中国が日清戦争に敗れて弱体化していたときだ。日本は混乱に乗じて一方的に領有を宣言した。
- ③日本は第二次世界大戦後のサンフランシスコ平和条約（→p12）により、日本が日清戦争で中国からうばった台湾や澎湖諸島を返却した。そのときに尖閣諸島も返還すべきであった。

*1 尖閣諸島のなかで最大の島。周囲約11km、もっとも高いところで海拔362m。

*2 台湾の西方約50kmに位置する島じま。

【台湾の主張】

- ①1949年、中国をおさめていた蒋介石ひきいる国民党が台湾にわたった。台湾が尖閣諸島を領土だと主張する根拠は、中国と同じ。
- ②地理的に見ても、尖閣諸島は中国よりも台湾に近い。



尖閣諸島の風景。読売新聞/アフロ

8「独島」とよばれる竹島

日本と韓国のあいだにある、世界地図では確認できないような小さな島をめぐって、現在、重大な問題が起きています。

日本で竹島とよんでいるこの島を、韓国と北朝鮮は「独島」とよんでいます。

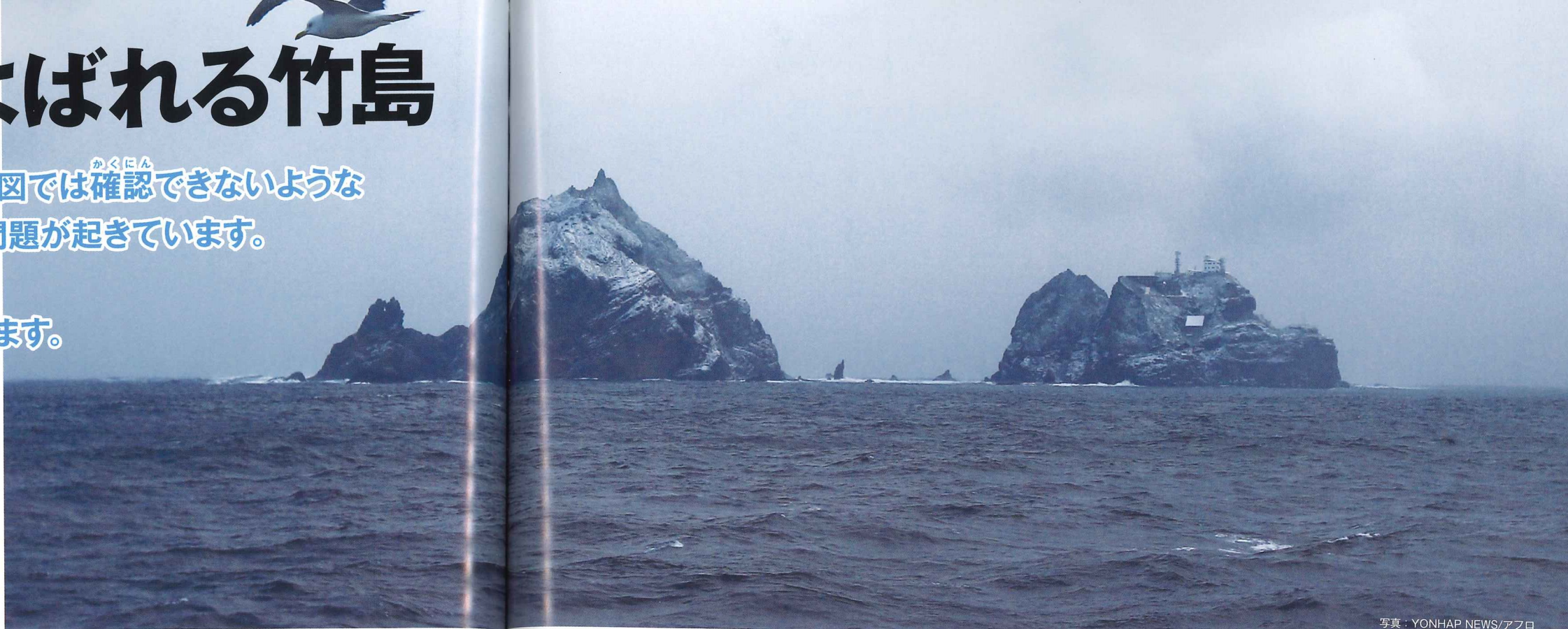
背景と経緯

竹島は日本と韓国のほぼまん中に位置する、総面積が約0.20km²（東京ドーム5つ分ほど）の島で、切り立った2つの岩とその周辺の数十個の小島からなっています。人の住むことができる環境ではありませんが、その周辺がとてもよい漁場になっているため、江戸時代のはじめごろ、日本や朝鮮半島の漁師がおとずれていたといわれています。

1905年に日本がこの島を先占（→p18のプラス1）し、国際的にも日本の領土であることが認められてきました。

ところが、第二次世界大戦の直後、日本を占領した連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）が、沖縄や小笠原諸島と同じように、竹島を日本の行政権からはずしました。すると、当時の韓国の李承晩大統領がこれを理由にして、1952年に日本と韓国の境界線（李承晩ライン*1）を一方向的に定め、竹島を韓国側に組みこみました。これが、竹島問題のはじまりでした。

その後、韓国は、竹島を占拠し、1954年からは警備隊を配備して支配を強めたのです。しかしその後しばらくは、日韓両国ともに竹島問題を先送りにしてきました。そして、1965年6月22日、日本と韓国のあいだで戦後賠償に代わる経済援助や在日韓国人の法的地位などを取り決めた「日韓基本条約」が結ばれました。



写真：YONHAP NEWS/アフロ



ところが、1996年にEEZの範囲を決める際、竹島問題がふたたび浮上。なぜなら、両国にとって、竹島をもつか、もたないかでEEZの広さが大きくちがってくるからです。

こうして、竹島をめぐり、両国の対立はしいにはげしくなりました。それでも両国は、たがいの関係を悪化させないために、竹島がどちらのものかを決めないまま、漁業について話し合いを続け、1998年に「日韓新漁業協定*2」を結びました。

*1 韓国の当時の大統領李承晩が1952年1月18日に設定した他国の漁船の侵入を制限した線のこと。

*2 1965年に日本と韓国との国交樹立とともに結ばれた日韓漁業協定をもとに、1998年11月28日に結ばれた「漁業に関する日本国と大韓民国とのあいだの協定」のこと。1999年1月22日発効。

近年の動き

2004年、韓国は、独島（竹島の韓国名）をあしらったデザインの切手を発行。これに対し日本政府は、切手の発行中止を求めました。しかし、韓国はこれを拒否。韓国国内では、この切手を手に入れようとして多くの人が郵便局の前にならぶ人気ぶりでした。

このことは、韓国国民の竹島問題に対する関心がきわめて高いことを示しています。また、2004年6月、韓国から竹島をめぐる観光船が就航をはじめました。ただ船上から島をながめるというだけの観光が大人気となりました。

一方、日本では、1905年2月22日に竹島が島根県に編入されてから100年になるのを記念し、2005年3月、島根県は2月22日を「竹島の日」とすることを条例で決めました。

すると今度は、韓国の馬山市が2005年3月に「対馬島の日」を制定。対馬島とは日本の対馬のことです。

2012年8月、当時の韓国の李明博大統領*がヘリコプターで竹島に上陸しました。他国の領

土に無断で入ることは国際法上許されません。しかし、韓国は竹島を不法占拠し、警備隊を駐留させているため、かんたんにできたのです。

その翌年2013年の「竹島の日」の式典には、日本政府関係者がはじめて出席。政府と県が一体となって竹島が日本領であることを訴えました。

こうして、竹島をめぐって、両国は対立を深めていきました。

*大阪府大阪市平野区生まれ。英語も日本語も堪能。2008年2月25日に第17代韓国大統領に就任。2012年、歴代大統領としてはじめて竹島に上陸。



竹島に上陸した李明博大統領。